

議員氏名：浜井 直彦

議案番号：議案第47号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は、議案第47号、令和8年度二宮町一般会計予算に対し、反対の立場で討論を行います。

今回3度目の反対討論となりますので、コンパクトにまとめます。

本案は、議会が2度にわたり否決した予算案と、残念ながらその本質においては何ら変わりません。

一般会計当初予算案総額から、今回上程された総額800万円の減額は、議会の重い審判に対する回答にしては程遠く、単なる手続を通すための帳尻合わせにすぎません。

第一に隠蔽への反対です。

新庁舎建設費の高騰について、執行部は精査中を理由に数字をいまだ明らかにしていません。数億から10億円を超える上振れがうわさされる中、その全体像を示さず、議会に判断を仰ぐなど、言語道断です。予算とは、町民の血税の使い道を明示する契約書です。正確なコストを隠したまま、白紙委任を迫るようなやり方は、町政の透明性を自ら破壊するものです。

第二に、無責任な強行への反対です。

管理不備が露呈し、立地リスクへの懸念も消えない新庁舎計画を、何1つ見直さず、強行しようとする姿勢は、議会と町民に対する挑戦と見ます。

これまで何度も指摘してきた防災上の懸念を棚上げし、建てれば終わりと言わんばかりの独善的な町政運営を到底認めることはできません。

本日この予算案に賛成するということは、執行部の不誠実な隠蔽とも取られかねない体質を容認し、将来にわたる巨額の財政負担を追認することと同じです。町民は、執行部の強気な姿勢の裏にある実態を注視しています。

私は、町民の命と財産を守るため、そして、議会の自浄作用を信じ、本案に対し断固反対いたします。